

メッセージ

本日の2026年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催、誠におめでとうございませう。日頃より木下松二議長をはじめ、皆様には大変お世話になりまして、ありがとうございます。

2016年にいわゆる人権三法が施行され、10年目の年を迎えました。依然、ネット上での誹謗中傷や偽情報の拡散が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。情報が瞬時に広がる時代だからこそ、冷静な対応が求められます。

改めて、皆様と力を合わせ、誰もが尊重される共生社会の実現に向けて尽力してまいります。今後ともご指導いただきますよう、よろしく願いいたします。

結びに、本日の定期総会が実りあるものとなりますことをご祈念申し上げ、京都府連からのメッセージとさせていただきます。

2026年5月26日

立憲民主党京都府連会長
京都府議会議員 田中美貴子



部落解放同盟京都市協議会

議長 木下 松二 様

メッセージ

2026年定期総会のご開催を心からお祝い申し上げます。また、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、常日頃より京水労に対するご厚情に、心から感謝申し上げます。

秋闘においては、我々が要求し続けてきた全世代に亘る賃上げがようやく実施されました。ここ数年は若年層に偏った賃上げが続いていたこともあり、中堅、ベテラン層の組合員には、半ば閉塞感のようなものが漂っていました。それが、昨年末は世代の垣根を超えて、全世代に喜びの表情がありました。もちろん、今年の秋闘での賃上げだけで、長く続いている物価の上昇や組合員が抱える将来への不安に対応できたわけではありません。しかし、そこには間違いなく世代を超えた一体感がありました。ある世代に偏った賃上げにより、「若い世代が・・・」「ベテラン層が・・・」といった世代を分断する雰囲気を生み出すのではなく、全世代が共に喜び合える、これからもそんな雰囲気を生み出すことができる全世代に亘る賃上げを継続して実施しなければなりません。

ベテラン世代の大量退職、さらには民間企業との人材獲得競争の激化により、これから我々にとって苦しい時期がやってきます。京都市民、さらに非常時には自治体の枠組みを取り払い、被災した方や困難な状況にある方々のライフラインを守っていく、そのためにはこれまで以上にスムーズな技術継承を進めていかなければなりません。組合員の不安を解消するために必要なものは、分断ではなく一体感です。局側も組合側もなく一体となって水道・下水道事業を持続的に運営する、そんな賃金体系や職場環境を共に作っていきましょう。

京水労は、これからも常に全世代の組合員や市民の立場に軸足を置いたうえで労働運動を展開していく決意であります。今後も厳しい情勢が予想されますが、未来のため共に連帯して闘いましょう。

2026年5月吉日

京都市水道労働組合
執行委員長 隼木 至



2026年5月26日

部落解放同盟京都市協議会
議長 木下 松二 様

メッセージ

部落解放同盟京都市協議会 2026年度定期総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、すべての人々の平等と人命が守られる社会を築く活動に日々邁進されていることに対し、深く敬意を表します。

さて、ロシアによるウクライナ軍事侵攻は3年以上が経過し、停戦の話し合いがされるもまだ争いが続いています。世界各地で起こっている紛争や内戦は多くの民間人や子どもたちに大きな犠牲を強いており、一刻も早い停戦と終結が求められます。5月現在、中東情勢は「4月に発表された米・イランの2週間停戦合意」の期限延長をめぐる外交戦が展開されているものの、現場の物流と軍事対立はむしろ悪化し、緊迫化の度合いを増しています。国内では原油や化学原料の調達網が寸断されたことで日常生活に影響を及ぼしています。物価の高騰やエネルギー価格の上昇で日々の生活の不安や不満、先が見えないことへの憂慮が高まる中において、昨年10月の自民党総裁選で高市総裁となった自民党は何も明らかにせず不透明なまま、政治が変わらないことで私たちの生活は苦しくなっていく一方です。このような社会が、人の思いやりを助け合いの気持ち、心のゆとりをなくしてしまうからこそ、誰もが平等に生きる権利、安心して暮らせるようにあらゆる差別を許さない社会実現に向けて、取り組みを進めなければなりません。

依然として私たちを取り巻く情勢はとても厳しいですが、生活を守り、希望ある未来を創り出し、あらゆる人権の確立に向けて、手を携え、ともにたたかっていきましょう。

本日の2026年度定期総会で実りある方針が決定され、組織のさらなる団結と貴協議会のますますのご発展とご参加の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、連帯のメッセージとさせていただきます。

京都市学校給食職員労働組合
執行委員長 橋本 正樹



部落解放同盟京都市協議会
議長 木下 松二 様

メッセージ

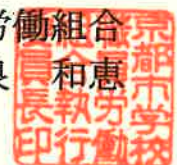
部落解放同盟京都市協議会定期総会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。また日頃より学職労の活動に対し、ご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。

私たちを取り巻く環境は依然厳しい情勢にありますが、私たち働くものの生活と権利、労働条件の維持・向上のためともにがんばりたいと思います。

終わりに、貴大会のご成功と発展を祈念し、連帯と激励のメッセージとさせていただきます。

2026年5月26日

京都市学校職員労働組合
執行委員長 相良 和恵



お祝いの辞

本日は 2026 年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

日頃より皆様には市民との連帯のもと、人権政策へのご提言活動に取り組まれ心より敬意を表します。

あらゆる差別の撤廃をめざし、また差別を助長する社会的制度の改革にむけて、私も皆様とともに活動してまいります。

京都市協議会のより一層のご発展をお祈りするとともに本日ご参集の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2026 年 5 月 吉日

衆議院議員

泉 ケンタ 



メッセージ

本日の、2026年度 部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催に際し、一言ご挨拶を申し上げます。木下松二議長をはじめ、皆様には日頃より大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

さて先の総選挙では、皆さまには格段のお力を賜りましたが惜敗となりました。痛恨です。申し訳ありません。

高市政権は、社会の分断や偏見を煽り、国家を二分する論争を進めていこうという動きを強めています。また、世界的に保守や右翼の台頭、ポピュリズムやフェイクニュースがあふれています。日本国内でも、ネット上の差別情報や、公然と差別や暴力を扇動する言動がおさまっていません。また、イラン、ウクライナ等、各地での紛争・衝突が続く、物価高も収まっています。

あらゆる差別をなくし、人権と平和を守る取り組みの推進に向けて、また国民生活を守るため、小生も参議院副議長として努めるとともに、党の再建にも力を尽くすつもりです。引き続きご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、部落解放同盟京都市協議会の今後益々のご発展と皆様のご健康をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2026年5月26日

参議院議員 福山哲郎



メッセージ

本日は「2026年度部落解放同盟京都市協議会定期総会」の開催まことにおめでとうございます。

皆さまには、平素より格別なご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

皆さまのご躍進に日ごろより敬服いたしております。私も少しでもお役に立てるよう頑張っている所存でございます。

最後になりましたが、今後ますますのご発展と本日ご参集の皆さまのご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。開催にあたってのことばとさせていただきます。

令和8年5月26日

国民民主党京都府連会長
京都市会議員

中野 洋一

